

J Aおちいまばり第7次中期計画最重点実施項目進捗管理表（平成28年度～30年度）

金融事業

ビジョン・目指すべき姿		地域に根ざしたJ Aの金融機関として、農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供を通じて豊かで暮らしやすい地域社会づくりに貢献します。								
重点方針	最重点実践方策	代表的な施策	3年間（平成28年度～平成30年度）の目標	平成30年度の目標値	実績値	達成度%	主な取組事項	今後の方針・課題	担当部署	
1	地域金融機関として農業及び地域社会への貢献	農業メインバンク機能の強化	営農経済部門と一体となり、農業者・農業法人への出向く活動を実践するとともに、資金ニーズに応じた最適な農業資金の提案を行い、農業メインバンク機能の強化に取り組みます。  管内の訪問対象先(認定農業者・メイン強化先)との面談を強化し、平成28年度は年100回、平成29年度は300回、平成30年度は450回を目標に取り組みます。	担い手への訪問回数450回	216件	48.0%	支店及び営農経済事業部門と一体となった農業担い手への出向く訪問活動を継続・実施中です。	「農業の夢ヒアリング訪問」を通じて農業者・農業法人の資金ニーズの把握に努めて、農業生産の拡大に繋がる最適な資金提案を行います。	資産相談課	
2	農業協同組合における金融事業の役割発揮	永続性のある安定的収益基盤の確立	農業・地域振興への取り組みの財源を確保するために、平成30年度でのJ A貯金3,000億円、年金振込口座2万件を目標として地域から選ばれる金融機関をめざします。	総貯金残高について、平成28年度末2,856億円、平成29年度末2,930億円、平成30年度末3,000億円をめざします。	年度末の総貯金3,043億	3,050億	25.0%	公金獲得できたことが大きな要因ではあるが、通期で行っている「結いの恵み」、6月15日より始まった「夏福キャンペーン」を取り組みました。	先行満期管理・各キャンペーンを利用し貯金量増大・維持を継続していく必要はあるが、今年度重点取組事項であるメインバンク機能の強化によって、次世代層との取引増強・優良顧客の囲い込みを図るため付帯取引の拡大をめざす。	金融企画課 推進指導課
			年金振込口座について、平成28年度末19,750件、平成29年度末20,500件、平成30年度末20,750件をめざします。	年金受給者21,644件	21,067件	25.0%	年金受給者広報誌「ゆとりんく」の配布と年金花道C Pを実施して、指定替え・紹介による獲得に向け積極的に取り組みました。 年金受給者に喜ばれる年金総会やJ A独自年金コンサートの企画・立案に取り組みました。	J A独自年金コンサート・年金総会の準備をするとともに、積極的にPRしながら貯金量増大に向け新たな年金受給者の獲得に努めます。	金融企画課 推進指導課	
		選ばれ続けるJ A共済となるため、3 Q訪問を基軸としたきめ細やかな活動を展開することを最優先し、新しい仲間づくりに取り組みます。	共済ニューパートナーについて、年間1,300人獲得の3年間継続をめざします。	目標獲得数1,300人以上	252人	19.4%	3 Q訪問活動からの契約内容確認と新たな情報発信を積極的に行いました。また、昨年からの建物仕組改訂・新商品「生活障害共済」のお知らせ活動も実施しました。こども倶楽部のイベントの企画についても検討しました。	こども倶楽部イベント「アンパンマンキャラバン」を9月・12月に実施し、新たな仲間づくりに努めます。また、引き続き3 Q訪問活動の取組強化を行います。	金融企画課 推進指導課	